



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)

分科会へのご案内 (会員による自主講座)

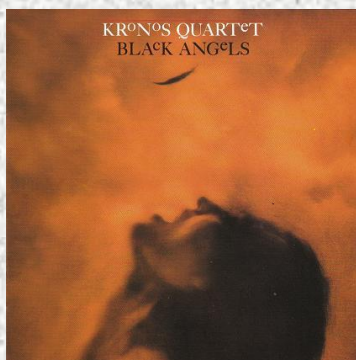
室内楽 おもしろ講座

「これからは地味な音楽“室内楽”も楽しく聴ける」

第6回 室内楽 各論 その5(現代)

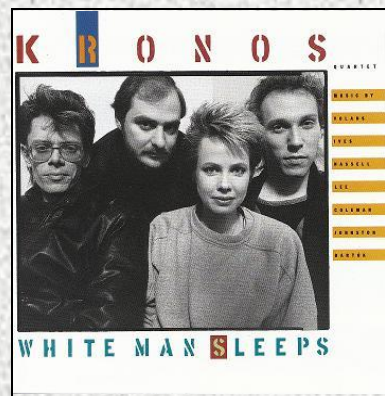
今回の「近・現代室内楽」をもって、本シリーズもいよいよ終了予定です。下記作品のうち最初の3曲は映像で、最後の「ホワイトマン・スリープス」は音のみによる再生となります。

1. ベラ・バルトーク(1881-1945) 「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」(1942)
現代室内音楽の出発点となったバルトーク最高傑作の一つ。(1987録画)
2. ヤニス・クセナキス(1922-) 「テトラス」(1983)
コンピューターが創造した暴力的20世紀電子音楽の典型? ジャック四重奏団(2009録画)
3. ジョージ・クラム(1929-) 「ブラック・エンジェルズ」(1970)
ヴェトナム戦争によって生まれた作品。「地獄の黙示録」的 神と悪魔の対決。
クロノス四重奏団(1999録画)
4. ケビン・ヴォランズ(1949-) 「ホワイトマン・スリープス」(白人はねている)(1985)
不気味な単調極まりない人間の心臓音のごとき連続音はミリリズム音楽。クロノス四重奏団(1987録音)



ブラック・エンジェル

何れもクロノス四重奏団への献呈作品。
右「ホワイトマン・スリープス」は
1987年日本レコード・アカデミー賞受賞作。



日時 / 2014年3月16日(日) 13:30~15:30

場所 / 久寺家近隣センター

発表者 / 高橋 敏郎 (室内楽 最終回)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤

<http://www.aafc.jp/>